

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (1/6)

市議会の総務、社会文教、産業建設その他の各委員会では、分科会やアンケートでいただいた意見等のうち、市民の皆様への回答が必要と判断する項目について執行機関側に聞き取り等を行ってまいりました。

今回、年度末までに回答を行うとした項目について報告いたします。

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
上村	遠山郷のエコパーク指定を活かすためにも、下栗地区の南アルプスが一望できるビューポイントを整備してほしい。（展望台）	お聞きしたご意見については、遠山郷観光振興室にお伝えしました。 下栗から望む南アルプスの展望はエコパーク・ジオパークや地域の魅力を発信する上で貴重な資源であると認識しているとのことです。 ここにしかない南アルプスの眺望を活かしていくために、展望台設置の是非も含め地元自治会や関連団体とも連携して可能性を探っていききたいとのことです。
上村	しらびそ高原に向かう道路は、どのルートも脆弱である。	お聞きしたご意見については、維持管理課にお伝えしました。 国道152号線からしらびそ高原へ向かう市道上村1号線は、急こう配で道路幅員が狭い箇所があることから、法面の落石防止や防護柵による転落防止対策など、地元地域との連絡を密にしながら、円滑な通行の確保のため、危険箇所を随時把握し適切な管理に努めている状況です。ご理解をお願いしたいとのことです。
上村	しらびそ高原に向かう道路わきの草が伸び、道幅が狭くなる。	お聞きしたご意見については、維持管理課にお伝えしました。 市道については、定期的なパトロールにより、路肩、法面の除草等を随時行い安全な通行の確保に努めていますが、道路わきの草が伸びるなど、通行に支障が生じている場合は、維持管理課維持係または上村自治振興センターへご連絡いただくようお願いしたいとのことです。 また、草の生えている土地が民有地の場合は、土地所有者による除草等のご協力をお願いしたいとのことです。
南信濃	山里留学を受け入れたが、思ったより反応があり3組11人が移住定住している。 今後は、住宅と働く場所の確保が必要である。また定住に繋がっていくような支援も必要。	お聞きしたご意見については、結いターン移住定住推進課にお伝えしました。 移住定住の推進に向けて、仕事と住宅の課題があり、仕事の掘り起こしや空き家などの住宅資源の活用が必要と考えているとのことです。まちづくり委員会と連携・協働し、求人情報や空き家情報の集約を行い、また移住された方が地域の中に溶け込みやすい環境づくりの取組を進めていくとのことです。
南信濃	遠山郷全体をハイウェイオアシスのような場所としていけたらという考えがある。それには、温泉の復活も必要。今後も行政も一緒になって動いてほしい。	お聞きしたご意見については、遠山郷観光振興室にお伝えしました。 遠山郷は三遠南信自動車道の開通効果を最大限活かし、信州の南の玄関口としての役割を果たすことで、旅の目的地となるような取組を進めています。 現在、遠山郷の観光拠点の一つである道の駅遠山郷については、再整備に向けて地元が中心となって検討を行っています。引き続き市も一緒になって検討し、遠山郷の観光産業の安定化を進め、地域経済の好循環につなげていくとのことです。

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (2/6)

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
松尾	<p>天竜川は最近、白濁などで鮎が住み着かない。 →天竜川のことは国に伝える。</p>	<p>お聞きしたご意見については、国県関連事業課を通じて、関係機関へお伝えさせていただきました。 飯田市としても、日頃から天竜川の河川状況や環境状況に注視し、異変等がある場合は関係機関とともに対応していきたいとのことです。</p>
鼎	<p>消防団OBや防災士資格保有者などで、地域をけん引する方はいるか。 ・消防団OBには防災士を取られて地域へ活かしている方もいると聞く。 →地区では実際に消防団関係者が地域防災をけん引している事例はあるか確認して頂き、自主防災の力となって頂きたい。</p>	<p>議会報告・意見交換会において自主防災組織への参画事例を伺いました。議会からも、地区間の情報の共有、必要な支援等については危機管理課に提案いたします。</p>
山本	<p>子育て応援アプリにはどんな相談が寄せられているのか。</p>	<p>お聞きしたご意見については、子育て支援課にお伝えしました。担当課によるとこれまでのところアプリのオンライン相談の希望はないとのことです。子育て相談については保健師の訪問及び電話、健診時に対応している状況で、オンライン相談については、ホームページ等で広報しておりますが、チラシを配布するなど一層の利用促進を図り潜在するニーズへ対応していく考えとのことです。</p>
山本	<p>地域おこし協力隊を移住定住にもう少し有効に利用できないか。</p>	<p>お聞きしたご意見については、結いターン移住定住推進課にお伝えしました。 当市の地域おこし協力隊は、①地域振興や地域課題の解決のための業務（ミッション）があること ②地域の受け入れ態勢があること ③退任後の定住のための暮らしのサポートを行うことを方針に、「中山間地域振興計画」に基づき、現在、中山間地域において地域と協働して導入しているとのことです。移住定住の取組は、地域おこし協力隊のみならず、地域ぐるみで取り組んでいくことが重要だと考えているとのことです。</p>
座光寺	<p>エス・バードで、CO₂排出抑制事業だけではなくて、eバイクの開発は出来ないか。並列の2人乗り。工業課に話したが、当初取り合ってくれなかった。 →実態はどうだったのか。 はじめ県の機関に話したが駄目で、エスバードに行った。若手職員が話は聞いてくれた。最終的に製造者責任の問題で没となった。</p>	<p>お聞きしたご意見については、工業課にお伝えしました。 eバイクの開発に取り組みたいとお考えをお聞きしましたが、技術や製造環境の整備など解決しなければならない課題も多く、「地域企業で製品開発や製造まで行う事は現状ではなかなか困難である」と対応させていただいたとのことです。</p>

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (3/6)

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
上郷	飯田市のマレットゴルフ場に少しでもいいので整備のための補助金を出していただきたい。飯田市運動公園（三日市場）・松尾・座光寺・親水公園・焼却場MG・今田平等々（市体協の大会長は市長。市のものは市でやっているのものでそれ以外）	お聞きしたご意見については、生涯学習・スポーツ課にお伝えしました。マレットゴルフ場を設置する際は、県の支援金制度等を活用して整備が行われてきた経過がありますが、その後の維持管理は地元の愛好会やまちづくり委員会にお願いしております。飯田市教育委員会では所管する200施設の改修、修繕を計画的に進めており、マレットゴルフ場の整備への補助制度については難しいのが現状というのが担当課の見解でした。 社会文教委員会として健康づくりの視点からはどうかと健康福祉部の見解を求めました。体を動かすことは運動機能の維持、健康づくりへの重要な要素と捉えていて、マレットゴルフもその一つであり、施設整備ではないが健康ポイント制度など検討をしているとのことです。
上郷	丸山地区の市政懇談会の時に、丸山には風越山麓わくわくプロジェクトや風越山に関わる団体がいくつかあるし、登山口は羽場、丸山から上郷までであるが、情報の共有化や調整を飯田市にお願いできないかとの発言があった。市長もその時、どういうところから地元に入って議論するか考えさせていただきたいと回答されていた。	お聞きしたご意見については、商業観光課にお伝えしました。 風越山の整備・活用については、丸山地区をはじめとした地域の方々の保存活動により支えられており、各地区や団体で活動を進めていると承知しているとのことです。今後、それぞれの団体が地区の垣根を超えて情報交換することについては、自治振興センターと相談しながら、その中で一緒に検討していくとのことです。
上郷	キャンプ場に先週も14張位の利用があった。野底山に行くのに計画的に道を作っていけないと案内するのも難しい。広域農道をうまく使えばいいが、計画が止まってしまっているのも道路網と宣伝の仕方に困っている。（中央道のボックスを大型バスが通行できない）	お聞きしたご意見については、土木課にお伝えしました。 野底山森林公園へ至る市街地からのルートについては、大型バスの円滑な通行に支障があることはご指摘のとおりですが、現在、大型車の通行を含めた新たな道路の計画はされていないようです。 今後、リニア開通等による交通動向や、上郷上段の土地利用、野底山森林公園の活用など、様々な視点からの状況を踏まえていきたいとのことです。
上郷	農協では就農研修を年に5人ほど進めてきており、高森町・豊丘村・喬木村は農地や住宅のバックアップをしているため移住者が増えている。飯田は移住とは担当が違うのでなかなか進んでいない。飯田管内でも新しいものを作ってほしいということではなく、空き家利用などしながら長期に自分の魅力にあったところを探せるような体制づくりに力を貸していただきたい。	お聞きしたご意見については、結いターン移住定住推進課にお伝えしました。 当市では、“売りたい、貸したい”空き家の情報をホームページで紹介し、希望する方におつなぎする「空き家バンク」を運営しているとのこと。また、空き家バンクによる空き家の流通を促進するため、補助制度により空き家の活用を支援しています。移住定住の推進、新規就農者の育成など、各種事業と連携し、空き家の利用促進に向けた取組を進めていくとのことです。
竜丘	農地の下限面積を何とかしてほしい。	お聞きしたご意見については、農業課にお伝えしました。 農地等を売買や賃貸等をする場合は、農業委員会の許可が必要となります。その許可要件のうち、面積については、竜東・遠山地区は10a以上、それ以外の地区は20a以上を取得することが要件ですが、農地法の一部改正により、令和5年4月1日から下限面積要件は廃止となります。 ただし、権利取得した農地は、自らがきちんと耕作・管理すること等の要件は、これまで通りとなります。農地等の売買や賃貸等を希望される場合は、まずは、農業課・農業委員会にご相談いただきたいとのこと。

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (4/6)

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
竜丘	空き家が増加しているが、相続ができていないなどで対応できない。行政として何とかできないか。	お聞きしたご意見については、結いターン移住定住推進課にお伝えしました。 管理不全な空き家で周辺に影響があると判断されるものについては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づき、空き家の所有者等に対して、現状の情報提供と適正管理の助言を行っているとのことです。相続については、親族間の案件につき、行政が積極的に介入することはできませんが、必要な場合には、専門家への相談を案内しているとのことです。
竜丘	有害鳥獣の被害が多くなった。（特にアナグマなど）	お聞きしたご意見については、農業課にお伝えしました。 鳥獣被害対策については、飯田市鳥獣被害対策協議会与連携し取り組んでいるとのことです。協議会の追い払い講習会等への支援の他、農業者が設置する防除柵、防鳥ネット、電気牧柵に補助金を支給しているとのことです。 また、有害鳥獣の捕獲については、アナグマも含めシカ、サル、イノシシ等の捕獲については猟友会を通じて報奨金を支給するとともに、檻・罠の導入、狩猟免許取得に補助を行う等、農作物被害の低減に向けて取り組んでいるとのことです。
竜丘	リハビリ専門の病院のように、何かに特化した施設ができれば、さまざまな資格を取得した方の職場が増える。	お聞きしたご意見については、健康福祉部と市立病院にお伝えしました。現在、介護予防に取り組む事業所は、リハビリに関する専門資格保有者の方々に参加いただき、市内各所で事業を展開されている。しかしながら、医療・介護分野全体の施設運営やサービス提供体制においては、専門資格保有者が不足していますので、まずは一層の人材確保を推進することが必要という認識であるとのことです。 医療従事者、患者を他地域から吸収できるような新たな専門病院を市が設置することは現状では難しいとのことです。
竜丘	公民館活動が盛んであるが、だれでも参加できる生涯学習の意味合いが薄れてきている。原点回帰が重要。	お聞きしたご意見については飯田市公民館にお伝えしました。新型コロナウイルス感染症との共存を前提に、学びと交流が停滞しないよう、状況に応じた計画や実施可能な手段を講じて“できること”を模索し、講座等の実践活動を通じ地域づくり、人づくりに取り組んできており、引き続き、実施を前提に住民の皆さんと協働し、活動を止めることなく誰もが参加できる公民館活動に取り組んでいくとのことです。また、「誰でも参加できる」原点回帰は重要で、課題として念頭におき活動を支援したいとのことです。
川路三穂	天龍峡大橋の遊歩道の活用を考えてもらいたい。	お聞きしたご意見については、商業観光課にお伝えしました。 天龍峡大橋・そらさんぽ天龍峡の完成により、周遊散策等、天龍峡をより広範囲で楽しめるようになりました。現在、安心して散策を楽しんでいただくための案内サインの整備を進めているほか、隣接の天龍峡パーキングエリアでのテント市開催、観光イベントでのスタンプラリー開催等、遊歩道を活用し、天龍峡の活性化を図るよう進めているとのことです。

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (5/6)

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
川路三穂	川路公民館のトイレの段差を改修してほしい。	<p>お聞きしたご意見については飯田市公民館にお伝えしました。川路公民館のトイレの段差について、ご不便をかけていることは承知しておりますが、このトイレの段差は建物の構造上、改善が大変難しく苦慮しており、1階多目的トイレの併用をお願いさせて頂くとともに、段差解消方法の検討を継続していくとのことです。</p> <p>社会文教委員会から、段差解消に向けて利用者とも検討を重ね解決を図りたいと伝えました。</p>
千代龍江	これからどうするのか、議会報告会ではない場所で共通の話題で話し合いが出来たらいい。	<p>議会報告・意見交換会にご参加をいただき、ありがとうございます。飯田市議会では議会報告・意見交換会にプラスする形で、今年度から新たな広聴の場として「タウンミーティング」をスタートしました。この事業は、議会報告・意見交換会のアンケートから新たな広聴の場を望む声が多くあり、創設したものになりますので、今後、幅広い市民の皆さんの声を聴かせていただくため、事業を拡大していきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見の「共通の話題」については、テーマがあるようでしたら所管する委員会の調査研究活動として、幅広い意見交換であればタウンミーティングとして開催させていただければと考えておりますので、詳細について議会事務局までご連絡いただければ幸いです。</p>
千代龍江	2年に1回、空き家調査している。龍江の場合は100件を超えているのではないかと。いろいろな理由があつてすぐに入りたいというニーズに対応できていない。土地付きで欲しい希望があるが、規制もあるので難しい。（下限面積のこともあるので）	<p>お聞きしたご意見については、結いターン移住定住推進課にお伝えしました。</p> <p>農地等を売買、賃貸等をする場合、農業委員会の許可が必要であり、下限面積の要件については、農地法の一部改正により、令和5年4月1日から廃止となりますが、権利取得した農地を自らがきちんと耕作・管理すること等の要件は、これまで通りの扱いになります。多様化したライフスタイルに応じ、農ある暮らしを選択される事例もあり、農地付き空き家に対するニーズを捉えて、適切なマッチングにつながるよう関係機関と協議を進めていきたいとのことです。</p>

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する年度末報告 (6/6)

開催会場順

会場	議会報告・意見交換会における意見等	回答（所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成）
千代龍江	今日はいい話し合いができたが、話し合いの内容の検討や今後の対応、次回開催に向けてどのように取り組んでいくのか。	<p>今年度の議会報告・意見交換会は、コロナ禍の対応として感染レベルに応じた開催方法とさせていただきますが、まちづくりの皆様のご協力により、509人の方の参加、596件のご意見やご要望をいただくことができました。いただいたご意見に対しての回答をさせていただくため、市議会として調査・研究させていただくために、いただいたご意見を6つの区分に分類をさせていただきました。</p> <p>① 委員会として調査・研究を行うもの（219件） ② 予算要望に関するもの（0件） ③ 早急に回答を行うもの（5件） ④ 年度内に回答を行うもの（27件） ⑤ 市へ伝えておくべきもの（107件） ⑥ その他（議会として聞置く）（238件）</p> <p>回答させていただけるものは、なるべく早期に回答させていただきながら、委員会としての調査・研究活動を行い、政策提言につなげていきたいと考えています。調査研究や政策提言の内容については、次回の議会報告・意見交換会の場で報告させていただきます。</p>
橋北橋南東野	防災訓練はコロナで中止。コロナになってから出来ていない。浜井場小学校の体育館だけでは狭い。教室を使いたい（要望）。訓練時に避難所に食料を自分で3日分くらい持ってくる。とてもできない。防災のマニュアルを作成する（今後中身をチェックしていく）。役員は避難所に行ってしまうのでどのように住民を誘導するのか？	<p>お聞きしたご意見については、危機管理課にお伝えしました。避難所の開設は災害の規模、被災状況等により変わります。また、できるだけ早い時期で学校での授業を再開する必要があります。担当部局において引き続き避難所開設、運営等への助言、支援を進めるとのことです。</p>
橋北橋南東野	市で行う防災訓練に合わせ訓練している。当地域は40組あり、その中で行っている。水の手は鼎まちづくり委員会と協定するように動いている。追手町小学校の講堂が避難所になっているが、急傾斜地になっている。避難場所を変更してもらいたい（りんご庁舎も近い・結スクエアも近い）	<p>お聞きしたご意見については、危機管理課にお伝えしました。災害は様々な要因、状況も想定されることから、急傾斜地の指定を受けていることのみを理由に変更するのではなく、総合的に判断し考えていくとのことです。</p>
羽場丸山	風越山の魅力をどのように売り出していくのか。平成27年から山桜を植えている。他におもてなしとしてブルーベリー・シイタケの栽培もしている。また会員数の減少があって資金調達ができない、内外への発信ができていない。伊賀良・丸山・羽場地域の連携が必要であり、市が音頭をとり、まとめていただきたい。	<p>お聞きしたご意見については、商業観光課にお伝えしました。</p> <p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれており、山桜の植栽などさらなる魅力づくりが進められていることから、多くの人に訪れてほしい観光資源であると考えているとのことです。また、風越山を含む西部山麓地域一帯の魅力として、ウォーキングコースの中で情報発信することも考えているとのことです。</p> <p>風越山の活用にあたっては、関係する地区の中でさらなる魅力づくりに向けて県や市の助成金を活用することを視野に、検討することも必要と考えているようです。また、それぞれの団体が地区の垣根を超えて情報交換することについては、自治振興センターと相談しながら、その中で一緒に検討していくとのことです。</p>